

## 年会長挨拶

第42回日本分子生物学会年会  
年会長 **佐々木 裕之**  
(九州大学生体防御医学研究所)



第42回日本分子生物学会年会へようこそ！年会の基調コンセプトは、人工知能や各種技術の革新による分野の変貌を踏まえて「分子生物学のネクストステージ」ですが、2つ目のコンセプト「食の都福岡へようこそ！大いに食べて、大いに飲んで、大いに議論しよう」も重視しています！7年ぶりの福岡開催を大いに楽しんでください。

前回福岡で開催された第35回年会では運営のIT化が推し進められましたが、今年の年会でもいくつかの工夫を凝らしました。まず、(1) 英語を希望されたワークショップを年会2日目に集め、この日をほぼ英語デーとしました(フォーラム、ランチョンを除く)。また、会期中は必ずどこかの会場で英語のシンポジウムが行われています。海外参加者との交流を楽しんでください。(2) ディスカッサーの先生がたには討論の時間中(コアタイム)に全ての担当ポスターを回っていただくことにしました。発表者は3分間で説明できるよう事前の準備が必要です。意外な質問と濃密な討論に頭を集中させてください。(3) 海外若手会員の参加支援の条件を緩和し、新たに外国籍学生・若手研究者(非会員)への参加支援を導入しました。後者は日本分子生物学会本体からの支援によるものです。(4) 日本生態学会との合同企画やチュートリアル企画としてのフォーラムを開催するなど、今年も多様なかたちのセッションを組ませていただきました。そして、最終日には高校生発表、仲野徹先生や池谷裕二先生による市民公開講座も開催されます。お時間のある方は是非こちらにもご参加ください。

最後に、地方開催であるにも拘わらず、予想以上の数の演題登録と協賛企業のご参加をいただき、順調に年会を開催することができました。ご協力頂いた全ての皆様に厚く御礼申し上げます。

さあ、参加者の皆様！年会を楽しんでください。自分の専門分野にとどまらず、他のセッションにも足を運んで大いに刺激を受け、考え、着想していただければと思います。年会が終わった時に「分子生物学のネクストステージ」が見えそうでしょうか？